

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元・柿沼 秀子
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1・2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士養成校にて24年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を16年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンをを行い、前期でバイエルピアノ教則本の50番までを仕上げることを目指す。							
【到達目標】							
・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本50番まで習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				必要な事項は次回の授業までに十分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い年間の到達目標を理解する。 【授業内容】 年間到達目標を理解する。ト音記号・ヘ音記号の読み方に慣れる。音楽課題曲リストの使用法を理解する。			9	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。生活の歌「おかたづけ」の練習。「あめふりくまのこ」。		
2	【到達目標】 季節の歌の歌唱、楽典の重要性について。 【授業内容】 「めだかのがっこう」が歌える。コード・ネームの基本を学習する。「こいのぼり」。			10	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おかたづけ」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「あめふりくまのこ」、「たなばたさま」。		
3	【到達目標】 ピアノ曲の習得、コード・ネームの基礎。 【授業内容】 ピアノ曲を1曲弾くことが出来る。コード・ネームの基本を学習する。「おかあさん」。			11	【到達目標】 コード・ネームによる伴奏付けが出来る(応用編)。生活の歌「おべんとう」の習得。 【授業内容】 コード・ネーム(C, F, G, D, A)が理解でき伴奏付けが出来るようになる。「たなばたさま」、「うみ」。		
4	【到達目標】 楽典(楽譜の理解)。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「ぶんぶんぶん」。			12	【到達目標】 前期定期試験の準備を始める。生活の歌「おかえりのうた」の習得。 【授業内容】 前期試験を展望したピアノ曲の習得。「おつかいありさん」、「シャボン玉」。		
5	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「はをみがきましょう」。			13	【到達目標】 季節の歌(夏)を習得し、1曲弾き歌いが出来る。 【授業内容】 季節の歌「夏」の習得、弾き歌い。定期試験の試験曲を決める。「おげげなんてないさ」。		
6	【到達目標】 楽典、保育活動における「生活の歌」の理解。 【授業内容】 楽典「大譜表」「音名」が理解できる。「かわいいかくれんぼ」。			14	【到達目標】 前期定期試験の準備とリハーサル。 【授業内容】 前期定期試験のピアノ曲と弾き歌い曲の練習と習得。「アイスクリームのうた」。		
7	【到達目標】 生活の歌、打楽器の奏法理解。 【授業内容】 打楽器の正しい演奏法が分かる。「かたつむり」。			15	【到達目標】 定期試験を行い、前期の到達度を理解する。 【授業内容】 前期で学習したピアノ曲1曲と、季節の歌ピアノ演奏の計2曲を演奏する。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 前期前半部の目標が達成できている(ピアノと楽典)。「音名とコードネーム」の理解ができる。「すてきなパパ」、「とけいのうた」。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 1・2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】 ・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 授業の進行方法、評価基準を理解する。 子供の表現と保育士の関わりを把握する。 【授業内容】 講義、演習「自己紹介カード記入」			9	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究③スクラッチ」		
2	【到達目標】 色の特徴を知る。 【授業内容】 演習「色の三原色」			10	【到達目標】 質の違いから生まれる美への意識を深め、技法を知る。 【授業内容】 演習「技法研究④パチック・フロッターージュ」		
3	【到達目標】 効果的な色の配置を知る。 【授業内容】 演習「補色・同系色」			11	【到達目標】 パネルシアターの特性を理解し、制作する。 【授業内容】 演習 ①パネルシアターの台本決定、下描き。講師による実演。		
4	【到達目標】 色の効果・性質・種類を知る。 【授業内容】 演習「暖色・寒色・その他の色」			12	【到達目標】 パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ②色塗り。		
5	【到達目標】 描画表現の基礎を知る。 【授業内容】 演習「静物デッサン」「人体デッサン」			13	【到達目標】 パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ③色塗り。		
6	【到達目標】 描画表現に必要な要素、伝え方を知る。 【授業内容】 演習「情景描写」			14	【到達目標】 子どもの視点を考えながら、色彩豊かにパネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ④色塗り。		
7	【到達目標】 偶然性の美と意図的な線を組み合わせ表現する。 【授業内容】 演習「技法研究①スタンピング・パブルアート・マスキング」			15	【到達目標】 丁寧にパーツを仕上げ、パネルシアターの制作に取り組むことができる。 【授業内容】 演習 ⑤色塗り、裁断、パーツの完成。定期試験。		
8	【到達目標】 偶然性の美と技法について知る。 【授業内容】 演習「技法研究②デカルコマニー・ドリップング・糸引き」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	社会福祉 trainig for nursery stuff	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	小熊 永枝
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
児童養護施設に勤務して29年目。休日は社会福祉士として、ホームレス支援、居住支援、成年後見、子ども食堂などの活動を行っている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は社会福祉の意義と歴史の変遷、制度や実施体系について学ぶ。また、相談援助、利用者の保護に関わる仕組みについても理解し、現代社会の動向や課題について主体的に考察する視点を養う。							
【到達目標】							
1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。2. 社会福祉の制度や実施体系等について理解する。3. 社会福祉における相談援助について理解する。4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する。5. 社会福祉の動向と課題について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「新基本保育シリーズ④社会福祉」中央法規				【授業外における学習】 授業を受けるに当たり、専門用語の下調べなどの予習や授業後の復習を行い、授業内容を深く理解する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			9	【到達目標】 相談援助の対象や援助過程を学び、援助者として必要な態度や姿勢を理解する。 【授業内容】 相談援助の対象と過程		
2	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			10	【到達目標】 保育現場における相談援助の個々の方法と技術について理解する。 【授業内容】 相談援助の方法と技術		
3	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			11	【到達目標】 権利擁護や苦情解決の仕組みを学び、第三者評価や情報公開などサービスの質を担保する仕組みを理解する。 【授業内容】 社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ		
4	【到達目標】 社会福祉がどのように成立し、どのような理念で実践され、私たちの生活に根ざしているか理解する。 【授業内容】 社会福祉の理念と歴史の変遷			12	【到達目標】 我が国の少子高齢化の現状を知り、少子化対策の展開と保育所の役割を理解する。 【授業内容】 少子高齢化社会における子育て支援		
5	【到達目標】 社会福祉分野(対人援助)における専門職の役割を学び、関係職種や地域との連携の大切さについて理解する。 【授業内容】 社会福祉の専門職			13	【到達目標】 我が国の障害者の現状や地域福祉の考え方から保育士に期待される役割について理解する。また先進諸国の歴史と動向を知る。 【授業内容】 障害者施策、在宅福祉・地域福祉の推進		
6	【到達目標】 社会保障制度の概要を学び、子育て世代とそれを支える仕組みについて理解する。 【授業内容】 社会保障および関連制度の概要			14	【到達目標】 これまでの授業で得た知識を定着させるために、内容をふりかえる。 【授業内容】 社会福祉概要		
7	【到達目標】 保育士が子どもの家族とかかわる際に用いる相談援助の理論について理解する。 【授業内容】 相談援助の理論			15	【到達目標】 授業で学んだことを踏まえ、問題に答えることができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 相談援助の意義と機能について学び、専門職としての「相談援助」とは何かを理解する。 【授業内容】 相談援助の意義と機能			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	さいたま市私立保育園協会 上條 友葉
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) さいたま市私立保育園協会に所属し、保育実務歴5年以上を有する。/保育士・幼稚園教諭としての実務経験、本校における現場実習指導の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、学生が実際に保育所の現場に赴き、各保育所の特色や保育の取り組みについて実践を通して学び、保育職と子どもの理解に繋がる事を目的とした科目である。また、保育を体系的に理解することができるよう、他科目と連携の上で事前の動機付けと都度の振り返りを効果的に行う。現場における担当講師は学生の今の状態を理解した上で子ども理解を深められるよう毎回のフィードバックを行う。学校教員は事前事後の指導において多角的に資質向上へ働きかけていく。							
【到達目標】 ・保育現場の実際や実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 教科書Gakken 保育 Books保育所保育指針ハンドブック イラストたっぷり やさしく読み解く				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 これまでの登園授業で特に印象に残ったエピソードをまとめ、他者と共有することができる。仲間の発表から気づき、記録に残すことができる。 【授業内容】 中間テスト 学びと気づきの分かち合い		
2	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。必要な事前準備を整えることができる。注目の視点について理解し、登園に備えることができる。 【授業内容】 週1登園の準備			10	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿に注目し、言葉かけや立ち居振る舞い、対応からの気づき得てまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「保育士の役割」		
3	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。必要な事前準備を整えることができる。注目の視点について理解し、登園に備えることができる。 【授業内容】 週1登園の準備			11	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿に注目し、言葉かけや立ち居振る舞い、対応からの気づき得てまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「保育士の役割」		
4	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」			12	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。保育者として関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「楽しい遊びを見つけよう」		
5	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「なかよしになろうね」			13	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。保育者として関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「楽しい遊びを見つけよう」		
6	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面に関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「おいしいね嬉しいね」			14	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑩「季節の保育」		
7	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面に関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「おいしいね嬉しいね」			15	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験「週1登園 振り返りプレゼンテーションの発表」		
8	【到達目標】 保育環境や保育現場での取り組みからこどもを守る仕組み、安全を保持するための心構えについて知りまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「安全と安心の環境」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	さいたま市私立保育園協会 上條 友葉
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 2・3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、学生が実際に保育所の現場に赴き、各保育所の特色や保育の取り組みについて実践を通して学び、保育職と子どもの理解に繋がる事を目的とした科目である。また、保育を体系的に理解することができるよう、他科目と連携の上で事前の動機付けと都度の振り返りを効果的に行う。現場における担当講師は学生の今の状態を理解した上で子ども理解を深められるよう毎回のフィードバックを行う。学校教員は事前事後の指導において多角的に資質向上へ働きかけていく。							
【到達目標】							
①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えるとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実践について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)/登園ファイル(黄)				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 これまでの登園授業で特に印象に残ったエピソードをまとめ、他者と共有することができる。仲間の発表から気づき、記録に残すことができる。 【授業内容】 中間テスト 学びと気づきの分かち合い		
2	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。必要な事前準備を整えることができる。注目の視点について理解し、登園に備えることができる。 【授業内容】 週1登園の準備			10	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿に注目し、言葉かけや立ち居振る舞い、対応からの気づき得てまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「保育士の役割」		
3	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。必要な事前準備を整えることができる。注目の視点について理解し、登園に備えることができる。 【授業内容】 週1登園の準備			11	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿に注目し、言葉かけや立ち居振る舞い、対応からの気づき得てまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「保育士の役割」		
4	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」			12	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。保育者として関わる上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「楽しい遊びを見つけよう」		
5	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「なかよしになろうね」			13	【到達目標】 子どもとの関わりを楽しみ、遊びを通して気づきを得ることができる。保育者として関わる上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「楽しい遊びを見つけよう」		
6	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面に関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「おいしいね嬉しいね」			14	【到達目標】 季節ならではの保育環境や生活と遊びの様子に気付く。保育の具体的な実践をまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑩「季節の保育」		
7	【到達目標】 保育現場における子どもの食の場面に関わり、養護及び教育の一体的展開について気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「おいしいね嬉しいね」			15	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験「週1登園 振り返りプレゼンテーションの発表」		
8	【到達目標】 保育環境や保育現場での取り組みからこどもを守る仕組み、安全を保持するための心構えについて知りまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「安全と安心の環境」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育者論 Nursery teacher theory	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭として保育現場で担任教務、保育実習生の指導経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、保育者としての専門性を知り、役割や倫理について学ぶ科目である。担当教員の幼稚園教諭、保育士としての現場経験を活かしながら、実際の保育園での活動を振り返りつつ、保育の専門性等を学べるように授業を展開していく。授業で学ぶことを、これから保育者を目指す自分自身のこととして捉え、考えを深めていけるよう、グループワーク等も含めながら授業を展開する。							
【到達目標】							
・保育者の役割と倫理、保育士の制度的な位置づけを理解し、専門性について考察することができる。 ・保育者の連携・協働について理解することができる。 ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解することができる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教科書Gakken 保育 Books保育所保育指針ハンドブック イラストたっぷり やさしく読み解く							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育者の職務内容、資質能力について理解し、自分の考えをまとめることができる。 【授業内容】 保育者の職務内容 保育者の資質能力			9	【到達目標】 子どもと関わる保育者の姿から学び、自身の次の課題を見出すことができる。 【授業内容】 中間テスト(エピソード記録の提出) 保育の実践と省察・評価		
2	【到達目標】 保育者の制度的な位置づけを理解しまとめることができる。 【授業内容】 児童福祉法における保育士の定義 保育の根拠法令			10	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑥「保育者の役割」の振り返り (養護及び教育の一体的展開・保育者の連携)		
3	【到達目標】 保育者の倫理について理解し、保育者に必要な素質を考察することができる。自分の考えをまとめることができる。 【授業内容】 保育士の倫理 養護及び教育の一体的展開・保育の資質向上			11	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「保育者の役割」の振り返り (養護及び教育の一体的展開・保育の連続性)		
4	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」の振り返り (保育士の専門性・子ども理解の視点)			12	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「楽しい遊びをみつけよう」の振り返り (保育の実践と省察・評価/保育者の専門性)		
5	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日②「なかよしになろうね」の振り返り (保育士の専門性・子ども理解の視点)			13	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「楽しい遊びをみつけよう」の振り返り (保育の実践と省察・評価/保育者の専門性)		
6	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日③「おいしいね嬉しいね」の振り返り (養護及び教育の一体的展開・保育者の連携)			14	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑩「季節の保育」の振り返り・制作 (計画に基づく保育の実践と省察・評価)		
7	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日④「おいしいね嬉しいね」の振り返り (養護及び教育の一体的展開・保育の実践と省察・評価)			15	【到達目標】 保育者の資質向上とキャリア形成について理解することができる。 【授業内容】 定期試験 保育者の資質向上とキャリア形成		
8	【到達目標】 週1登園での学びを土台とし保育者としての在り方について考え、まとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「安全安心の環境」の振り返り (保育の実践と省察・評価/保育者の専門性)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	情報リテラシー Literacy for information	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	大山華奈
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 2限
学科・コース		保育士科(昼間主コース)					
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士として保育現場での実務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
基本的なITリテラシー学習や、生成AIとchatGPTの使い方を学び、動画やドキュメンテーションの作成をする。また、オンライン実習システムを活用し、日誌の入力や記録の残し方を学ぶ事で、幅広い保育業務について理解を深める事を目的とする。							
【到達目標】							
基本的なITリテラシーを身に付けると共に、生成AIやchatGPTを用いて、保育現場で活用する術を身に付ける事を目的とする。 また、実習日誌システムを使用した実習日誌の書き方や、エピソードやドキュメンテーションの作成に挑戦し、現場や実習で活用できる力を養う。							
【使用教科書・教材・参考書】 これからの時代の保育者養成・実習ガイド				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 本科目の到達目標を理解し、授業の全貌をイメージできる。 【授業内容】 授業オリエンテーション			9	【到達目標】 保育現場のICT化について自身の学びをまとめる事ができる。(中間試験) 【授業内容】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。		
2	【到達目標】 実習システムの仕組みを学ぶ。 【授業内容】 実習オンラインシステムの使い方を知り、正しく扱えるようになる。			10	【到達目標】 週一登園の記録を基に、発表準備を進める。(ルーブリク理解) 【授業内容】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。		
3	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIの使用について理解する。 【授業内容】 自分のプレゼン資料作成			11	【到達目標】 週一登園の記録を基に、発表準備を進める。 【授業内容】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。		
4	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIの使用について理解する。 【授業内容】 自分のプレゼン資料作成			12	【到達目標】 週一登園の記録を基に、発表準備を進める。 【授業内容】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。		
5	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIの使用について理解する。 【授業内容】 自分のプレゼン発表			13	【到達目標】 週一登園の記録を基に、発表準備を進める。 【授業内容】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。		
6	【到達目標】 PPT、Canva、生成AIを使用し、自身の言葉でまとめる。 【授業内容】 自分のプレゼン発表			14	【到達目標】 週一登園製作資料を基に、本番を想定した練習ができる。 【授業内容】 発表リハーサル(定期試験)		
7	【到達目標】 保育現場のICT化の流れを理解する。 【授業内容】 コドモンの使用について			15	【到達目標】 学びを振り返り、後期に繋げることができる。 【授業内容】 前期授業の振り返り		
8	【到達目標】 保育現場のICT化の流れを理解する。 【授業内容】 ドキュメンテーションについて			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	乳児保育Ⅰ Infant nursing Care Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	平岡 麻依子
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 3限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立保育所に長年勤務し、0歳児から5歳児までの保育に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目では、講師のもつ数多くの事例の中から、リアルな講義を行う。3歳未満児の養護と教育が一体となった保育の基本や、発達の特徴を捉えた、遊びや生活の支援や保育者の役割を理解する。家庭との連携の大切さを知り、家庭支援の重要性にも気づいてほしい。乳幼児期は、子どもの土台となる大事な時期であることを理解し、一人ひとりと向き合うことの大切さ、保育士の存在の大きさを感じてもらいたい。							
【到達目標】							
1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
令和5年度最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン／幼稚園教育要領／保育所保育指針／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児保育を学ぶ心構えができる。乳児保育の歴史の変遷と、現在の役割を理解することができる。 【授業内容】 授業オリエンテーション。乳児保育とは何かを理解し、乳児保育に必要な基本的な知識を知る。			9	【到達目標】 栄養と食事の重要性を理解することができる。 【授業内容】 月齢別の食事内容と支援。		
2	【到達目標】 発達段階を理解し、それに応じた保育の基本を理解することができる。 【授業内容】 乳児の発達理論、月齢別の特徴と支援。			10	【到達目標】 健康維持と安全確保の基本を理解することができる。□ 【授業内容】 感染症対策、事故防止の基本。		
3	【到達目標】 生活リズムに合わせた環境設定の重要性を理解することができる。 【授業内容】 睡眠・食事・排泄の基本と環境作り。			11	【到達目標】 発達を適切に評価し、記録する方法を理解することができる。 【授業内容】 個人の記録の取り方、目標の考え方を学ぶ。		
4	【到達目標】 信頼関係の重要性と具体的な関わり方を理解することができる。 【授業内容】 愛着形成の理論と実践。			12	【到達目標】 安全で適切な抱っこ・おんぶの方法を習得することができる。 【授業内容】 抱っこ・おんぶの実技演習。		
5	【到達目標】 乳児の言語発達の流れとか関わり方について理解することができる。 【授業内容】 言語発達の流れと、支援。			13	【到達目標】 衛生的でスムーズなおむつ替えの技術を習得することができる。 【授業内容】 おむつ替えの実技演習。		
6	【到達目標】 発達を促す遊びの重要性と方法を理解することができる。 【授業内容】 発達段階に応じた遊びの紹介と実践。			14	【到達目標】 授業の振り返りができる。 【授業内容】 定期試験①(抱っこ・おんぶ・おむつ替え)		
7	【到達目標】 スキンシップの重要性を知り、ふれあい遊びを習得することができる。 【授業内容】 ふれあい遊びの実践演習。			15	【到達目標】 授業の振り返りができる。 【授業内容】 定期試験②(筆記)		
8	【到達目標】 ここまでの授業の振り返りができる。 【授業内容】 中間試験(筆記試験)			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	子どもの保健 Health care for infant	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
	学科・コース 保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 現場での経験と知識を生かし、保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心して安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。2. 子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。3. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。4. 子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの心身の健康と保健の意義を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの保健活動の意義と目的 健康指標 子どもの保健の現状と課題			9	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 感染予防		
2	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 成長発達の一般的原則			10	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもに多い感染症とその対処		
3	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 形態的発達			11	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 集団生活における感染症発症時の対処		
4	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 運動機能の発達			12	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 予防接種		
5	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 精神機能の発達			13	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 その他の急性・慢性疾患とその対処		
6	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 生理的機能の発達			14	【到達目標】 児童虐待について学び理解することができる。 【授業内容】 児童虐待の定義・予防・対処		
7	【到達目標】 子どもの健康と発育を学び理解することができる。 【授業内容】 発育評価			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 子どもに多い病状・病気とその対処および予防について学び理解することができる。 【授業内容】 子どもが病気にかかりやすい理由 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わった経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英語表現、英語の歌、英語のゲーム、パンフレット作成、保育現場で想定される英会話、英語の読み聞かせ・紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て英語でインタビュー、動画作成などをすることもある。							
【到達目標】							
・外国語学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
必要資料は授業時に教員が配付する。授業後に個人の所有物になる制作作品については各自材料の準備を願う。決められたテキスト等の使用はない。				予習や復習、資料準備・制作材料などは事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 英語で簡単な自己紹介やゲーム、歌を楽しむことができる。保育園・幼稚園・児童施設における英語教育・活動の現状を知る。 【授業内容】 翻訳機能の使い方、英語で自己紹介、ゲーム、や歌に取り組む。(カードゲーム・サイコロゲーム) 歌:どんないろがすき、つばさをください 他			9	【到達目標】 ちょっと英会話「レストラン編」を英語で演じる。 【授業内容】 台本を工夫して作り、役割を決めて、練習をする。 歌:適時決定		
2	【到達目標】 英語で子ども向け、成人向けの歌やゲームを考えて、楽しい活動をすることができる。 【授業内容】 英語のゲーム、歌等を楽しむ。(Who am I? 早押しゲーム・すごろくゲーム) 歌:どんないろがすき、つばさをください 他			10	【到達目標】 ちょっと英会話「レストラン編」を英語で演じる。 歌:適時決定 【授業内容】 台本を工夫して作り、役割を決めて、練習をする。		
3	【到達目標】 英語で昔話を楽しみながら読むことができる。 「おおきなかぶ」 【授業内容】 英語の歌をうたう。昔話を英語で読む。 歌:ゆめをかなえてドラえもん 他			11	【到達目標】 ちょっと英会話「レストラン編」を英語で演じる。 歌:適時決定 【授業内容】 台本を工夫して作り、役割を決めて、練習をする。		
4	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌:はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			12	【到達目標】 完成した劇を動画で撮影することができる。 歌:適時決定 【授業内容】 劇を動画で撮影する。		
5	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌:はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			13	【到達目標】 地域の文化・観光地等を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作り(キャンバ) ※キャンバ使用法を覚える		
6	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌:はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			14	【到達目標】 地域の文化・観光地等を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作りと発表(キャンバ)		
7	【到達目標】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で親しみ、読み聞かせをしたり、歌を歌うことができる。 歌:はらべこあむし 【授業内容】 「はたべこあおむし」を英語と日本語で読む。場面絵を制作したり、英語と日本語で読み聞かせを練習し、実際にやってみる。			15	【到達目標】 地域の文化・観光地等を紹介する英語のパンフレットを制作し、作ったパンフレットをもとに発表することができる。 【授業内容】 パンフレット作りと発表(キャンバ) 定期テストは、作成したパンフレットと前期の内容での試験で行う		
8	【到達目標】 「はらべこあおむし」の大型絵本を使って英語の読み聞かせができる。 【授業内容】 読み聞かせの動画を撮影して、それを中間テストにする。 歌のテスト:はらべこあおむし			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	総合福祉技術(点字) Study for Braille	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	天野 亨
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	15	開講区分 曜日・時間	前期 木曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 視覚しょうがい者で盲導犬と歩いています。長年点字を使い、学習・読書・点字楽譜を使って音楽の勉強もしてきました。点字や日本語の魅力をお伝えします。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) この授業では、友人と文通ができる程度の点字の読み書きを学ぶと共に、視覚しょうがいについての理解を深めていきます。							
【到達目標】 基本的な点字の学習を通じて、日本語を別の角度からとらえ返すと共に、それを使用する視覚しょうがい者のハンディキャップについての理解を深める。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「視覚障害者介護技術シリーズ1 初めての点訳 第3版」 ・点字器				【授業外における学習】 学習内容の予習・復習			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 名前を書こう 【授業内容】 点字器の正しい使い方と、点字の50音を理解しよう。			9	【到達目標】 形式名詞を学ぼう 【授業内容】 形式名詞について理解しよう。		
2	【到達目標】 単語を書こう 【授業内容】 点字で単語を正しく書こう。			10	【到達目標】 三つのハンディキャップについて理解しよう 【授業内容】 視覚しょうがい者のハンディキャップについて学ぼう。		
3	【到達目標】 数字とアルファベット 【授業内容】 点字の法則と数字・アルファベットとの関連性について学ぼう。			11	【到達目標】 盲導犬について知ろう 【授業内容】 盲導犬の仕事や、その主人との関係について考えよう。		
4	【到達目標】 付属語について 【授業内容】 自立語と付属語について学ぼう。			12	【到達目標】 こ・そ・あ・ど言葉について 【授業内容】 連体詞・副詞について学ぼう。		
5	【到達目標】 文章を書こう 【授業内容】 短い文章を正しい仮名使いで書こう。			13	【到達目標】 「ない」について理解しよう 【授業内容】 「ない」と言う言葉について学ぼう。		
6	【到達目標】 文節分から書き 【授業内容】 文節分から書きについての理解を深めよう。			14	【到達目標】 終了作品を作ろう。 【授業内容】 点字授業の最後にあたり、終了作品を作ろう。		
7	【到達目標】 補助動詞 【授業内容】 補助動詞について学ぼう。			15	【到達目標】 テスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。		
8	【到達目標】 振り返りとテスト 【授業内容】 今まで習得した点字の技術を評価するための試験と振り返り。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育原理 Nursery School Instruction Research	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上 條 友 葉
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士・幼稚園教諭として保育現場で担任教務、保育実習生の指導経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、保育の本質や目的、制度や歴史、保育の現状について学ぶ基礎的な科目である。週に1度の登園授業における保育体験を学生と教員が振り返る中で生まれる疑問や課題に、教員の保育者経験を活かして向き合う。経験から保育を理論と根拠法令を手掛かりに、体系的な理解の深化を図る講義を行う。							
【到達目標】 ・保育に関する法令及び制度を理解し、保育の基礎・基本理念、意義および目的について理解することができる。 ・保育所保育指針における保育の基本について理解し、保育の在り方や保育者の役割について理解することができる。 ・保育の歴史的変遷や思想を学ぶとともに、保育の現状や課題について考えることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教科書Gakken 保育 Books保育所保育指針ハンドブック イラストたっぷり やさしく読み解く				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育の理念・概念について理解しまとめることができる。 【授業内容】 オリエンテーション 保育の理念・保育の概念			9	【到達目標】 これまでの学びを反映し、語句の記述及びそれらの説明をすることができる。 【授業内容】 中間試験・アクティブラーニング		
2	【到達目標】 保育所保育指針の概要および各章の詳細について理解することができる。 【授業内容】 保育所保育指針に基づく保育			10	【到達目標】 子どもを理解したうえでの保育計画の策定過程について学ぶ。 根拠に則った計画案と実践の事例から気付きをまとめることができる。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程(理論)		
3	【到達目標】 保育運営する目的と目標について理解しまとめることができる。 多様な保育方法とそれらに共通する事柄を理解することができる。 【授業内容】 保育の目標と方法 保育の五領域			11	【到達目標】 子どもを理解したうえでの保育計画の策定過程について学ぶ。 根拠に則った計画案と実践の事例から気付きをまとめることができる。 【授業内容】 子ども理解に基づく保育の過程(実践)		
4	【到達目標】 乳児の保育における3つの視点・1歳以上3歳未満児のこどもの保育の留意点を理解することができる。 【授業内容】 乳児の保育			12	【到達目標】 子どもを理解したうえでの保育計画の策定過程について学ぶ。 根拠に則った計画案と実践の事例から気付きをまとめることができる。 【授業内容】 保育の体系的な理解①パンフレットの作成		
5	【到達目標】 幼児の保育において意識したい「幼児期の終わりまでの育ってほしい10の姿」について理解しまとめることができる。 【授業内容】 幼児の保育 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿			13	【到達目標】 子どもを理解したうえで保育計画の策定を行う。根拠に則った計画案を作成し、園のパンフレットを制作することができる。 【授業内容】 保育の体系的な理解②パンフレットの作成		
6	【到達目標】 現代の保育の実施体系について理解しまとめることができる。 子ども子育て新制度について理解し系図を記述することができる。 【授業内容】 保育の実施体系 子ども子育て新制度			14	【到達目標】 子どもを理解したうえで保育計画の策定を行う。根拠に則った計画案を作成し、園のパンフレットを制作することができる。 【授業内容】 保育の体系的な理解③パンフレットの作成		
7	【到達目標】 日本や海外の保育の歴史・大切にされてきた思想を理解し、まとめることができる。 【授業内容】 日本の保育の思想と歴史 諸外国の保育の思想と歴史			15	【到達目標】 子どもを理解したうえで保育計画の策定を行う。根拠に則った計画案を作成し、園のパンフレットを制作することができる。 【授業内容】 定期試験 定期試験振り返り		
8	【到達目標】 これまでの学びをまとめ、語句の記述及びそれらの説明をすることができる。 【授業内容】 前半の内容振り返り			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育の心理学 Psychology of the childcare	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	田島 葵
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 公認心理師として、発達障害児への個別療育やソーシャルスキルトレーニング、保護者への相談支援、スクールカウンセラー等の心理的支援に携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目を通じて、保育実践にかかわる心理学の知識や発達の基本原則について、体系的に学習する。省察やグループワークの機会を設ける中で、一人ひとりが自己理解と他者理解を深化させ、保育臨床場面での素養を醸成してほしい。							
【到達目標】 1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護及び教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を深める。 3. 子どもの学びの過程や特性について基礎的な知識を習得し、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「実践に活かす保育の心理学」ミネルヴァ書房				【授業外における学習】 余裕がある人、興味がある人は予習など。学ぶことを楽しんでもらえると嬉しい。 復習はした方が知識の定着は早いと思う。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 心理学について、保育の心理学とは何か、心理学の研究方法について理解することができる。自分なりに活動に参加する。 【授業内容】 オリエンテーション 発達を捉える視点			9	【到達目標】 数と形・言葉の発達について理解することができる。 【授業内容】 言葉の発達と社会性		
2	【到達目標】 発達における遺伝と環境の捉え方、子どもの発達と環境を理解することができる。 【授業内容】 子どもの発達と環境			10	【到達目標】 学習理論について理解することができる。 【授業内容】 乳幼児期の学びにかかわる理論①		
3	【到達目標】 身体の発育、身体・運動機能の発達、乳幼児期の自己形成と感情(前半)について理解することができる。 【授業内容】 身体的機能と運動機能の発達			11	【到達目標】 学習理論を保育でいかすための技法、行動主義の実践例について理解し、自身でも考えることができる。グループワーク実施。 【授業内容】 乳幼児期の学びにかかわる理論②		
4	【到達目標】 乳幼児期の自己形成と感情(後半)、自我の発達、他者との関係について、誤信念課題を理解することができる。 【授業内容】 自己と感情・情動、社会性の発達			12	【到達目標】 発達に応じた援助・子どもの特性、発達と虐待について理解することができる。 【授業内容】 発達障害と虐待		
5	【到達目標】 愛着(アタッチメント)について理解することができる。 【授業内容】 愛着(アタッチメント)			13	【到達目標】 遊びに関する様々な定義や発達段階について理解できる。グループワーク実施。 【授業内容】 遊びの発達		
6	【到達目標】 ソーシャルスキルに関して理解することができる。グループワーク実施。 【授業内容】 ソーシャルスキル学習(SST)			14	【到達目標】 エリクソンの発達段階(一部)、学童期以降の発達、小学校との連携と接続について理解することができる。 【授業内容】 学童期以降の発達について		
7	【到達目標】 ピアジェの発達理論、ヴィゴツキーの発達理論を理解することができる。 【授業内容】 知覚と認知の発達			15	【到達目標】 これまでの授業で学習したことをもとに、問題に答えることができる。分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 定期試験、解答解説、動画視聴		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返り、学習を深、て問題に答えることができる。分からない問題を洗い出し、自分の課題を見つけることができる。 【授業内容】 これまでの授業の振り返り、中間試験、解答解説、動画視聴			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 学習方法などは各々に任せる。							

科目名 (英)	総合福祉技術(手話)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高須一美
	Sign Language	授業 形態	演習	総単位 時間	15	開講区分	前期
学科・コース	保育士科(昼間主コース)					曜日・時間	金曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
企業研修や学校・保育現場、病院・講演会・TV政見放送通訳等。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
保育園や幼稚園等、現場で使える手話を表現できるように指導する。聞こえないことに対しての理解を深め、コミュニケーションスキルの一つとしての手話を体得する。実習の要素を多く取り入れ、学生が自分で実践出来るように指導を進める。							
【到達目標】							
保育園や幼稚園等の教育現場で使える手話表現を身に付ける。保護者に対して、子どもに対して手話を伝えていける保育士となれる様な学びの場とする。言葉のみに頼らず手話・口話・身振り・筆談等が自然に出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 手話テキスト I				【授業外における学習】 予習は特に必要ないが、授業で覚えた内容は復習して、次の授業でわからないことは質問できるように心掛けて欲しい。一人ひとりが授業の主人公になる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 手話について理解する。挨拶の手話を覚える。 【授業内容】 手話とはどのような言葉なのか理解する。実際に自ら手を動かして表現することに慣れる。			9	【到達目標】 疑問詞Ⅰ 何・どこ・どっち の表現を覚える。 【授業内容】 疑問詞を学び、問う、答えるのコミュニケーションの形を取って、やり取りができるようにする。学生同士で会話をしてみる。		
2	【到達目標】 自分の名前が、手話で表現できるようになる。 【授業内容】 名字の表現方法を身に付ける。名乗れる、尋ねる事ができるようにする。			10	【到達目標】 疑問詞Ⅱ いくつ・いくら・いつ・何故・どのように の表現を覚える。 【授業内容】 学生同士で学んだ疑問詞を使って会話が出来るように演習を進める。		
3	【到達目標】 指文字(50音)の表現が出来るようになる。自分の名前が表現出来るようになる。 【授業内容】 <あ〜ん>までの表現方法を学び、実際に自分の名前、固有名詞の表現が出来るように、覚え方も解説して進める。			11	【到達目標】 現場を想定した会話が出来るようになる。 【授業内容】 資料を使って、現場を想定して、簡単なやりとりができるようにする。		
4	【到達目標】 数字の表現方法を覚える。日時や金額の表現が出来るようになる。 【授業内容】 <1〜万>の単位まで、数字を表現する方法を学ぶ。色々なものの表現をしてみる。			12	【到達目標】 歌に手話を付けて歌えるようになる。(参考:『さんぽ』『にじ』『はじめの一步』等) 【授業内容】 保育園で楽しく歌えるような歌に手話を付けて歌う。単語の説明や歌詞の翻訳についても解説する。		
5	【到達目標】 聴覚障がいについて理解する。障がいとはどのようなことか、他の障がいについても理解する。 【授業内容】 映像を視聴して、聴覚障がいについて考える。コミュニケーションについて考える。			13	【到達目標】 歌に手話を付ける(物語を手話で語る) 【授業内容】 事前に学生の希望を取り、歌に手話を付けるか、物語を手話で語るかを決定する。		
6	【到達目標】 時制についての表現方法を覚える。曜日の表現方法を覚える。 【授業内容】 今日・明日・来週等の覚えた単語を使って、日常会話の短文の表現が出来るようにする。			14	【到達目標】 1回から13回までの総復習。今後の手話への関りについて考える。 【授業内容】 簡単な手話表現が出来るようになったことを確認する。全体的な質問を受ける。今後の手話学習について情報を提供する。		
7	【到達目標】 1回から6回目までの復習。 【授業内容】 自分の苦手な所はどこなのかを知り、それぞれが苦手な部分を克服して、後半の講義に臨めるようにする。中間試験に備える。			15	【到達目標】 定期末試験 【授業内容】 定期末試験(手話の読み取り試験) 60点問題		
8	【到達目標】 中間試験 【授業内容】 中間試験(手話の読み取り試験) 15点問題			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100〜90点＝A評価 点数 89〜80点＝B評価 点数 79〜70点＝C評価 点数 69〜60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 学生全員が、自ら積極的に授業に参加できるような雰囲気を作っていきたい。遠慮することなく、分からないことは、すぐに質問できるような授業にしたい。							

科目名 (英)	音楽 Music	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	浅子 元・柿沼 秀子
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1・2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士養成校にて24年のピアノ・音楽指導を行う。また保育園にてリトミック指導を16年行う。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
長年の音楽(ピアノ)教育の経験から、ピアノ・歌唱のほか、リトミック、打楽器演奏、オペレッタを2002年から専門学校にて指導している。 本科目は、音楽的基礎力(楽典)に注力し保育者として必要とされる音楽技術を学ぶ。基本、毎回の授業でピアノの練習とレッスンをを行い、前期でバイエルピアノ教則本の80番までを仕上げることを目指す。							
【到達目標】							
・保育者、教育者として必要な基礎的な音楽の技術と理論を習得する。 ・「ピアノを使って楽しく音楽が指導できる人を養成する」を授業の目標とする。 ・バイエルピアノ教則本80番まで習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
・「こどものうた200」チャイルド社 ・「標準バイエルピアノ教則本」全音楽譜出版社				必要な事項は次回の授業までに十分習得しておくことを求めます。ピアノは毎日少しでも練習を積むことが必要です。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 オリエンテーションを行い後期の到達目標を理解する。前期試験の振り返り。生活の歌「さよならのうた」の習得。 【授業内容】 後期の授業のオリエンテーションを行い、年度末の自分の到達点をイメージできるようにする。「とんぼのめがね」。			9	【到達目標】 ピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノ練習曲(バイエル)を進める。「あわてんぼうのサンタクロース」、「ジングルベル」。		
2	【到達目標】 バイエルピアノ教則本の習得。 【授業内容】 「バイエルの作品」を1曲しっかり仕上げる。「世界中のこどもたちが」。			10	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる①。「お正月」。		
3	【到達目標】 生活の歌の習得をする。「おはようのうた」、「あさのうた/D」。 【授業内容】 「生活のうた」を1曲ずつしっかり仕上げる。「おはようのうた」を弾き歌いできるようにする。「どんぐりころころ」、「まつぼっくり」。			11	【到達目標】 保育の音楽活動の疑似体験をする。 【授業内容】 保育の一場面を想定したロール・プレイングができる②。「まめまき」。		
4	【到達目標】 季節の歌(秋)の習得をする。 【授業内容】 「秋の季節のうた」を練習し1曲弾き歌いが出来るようになる。「やきいもグーティーパー」、「大きなくりの木の下で」。			12	【到達目標】 定期試験を展望しピアノ曲の練習と習得をする。 【授業内容】 ピアノのレッスンと試験対策。「うれしいひなまつり」。		
5	【到達目標】 正しい発声と音程の理解が出来る。 【授業内容】 歌唱:正しい発声と音程で歌うことが出来る。「きのこ」。			13	【到達目標】 季節の歌(冬、春)を習得し、1曲弾き歌いが出来る。 【授業内容】 弾き歌い曲の練習とレッスンと試験対策。「思い出のアルバム」、「春がきた」。		
6	【到達目標】 生活の歌の習得をする。 【授業内容】 1年生のうちに生活の歌を6曲完成させる。今日で5曲完成する。「どんぐりころころ」、「たきび」。			14	【到達目標】 後期定期試験の準備。 【授業内容】 試験曲の練習をして定期試験に備える。「一年生になったら」。		
7	【到達目標】 ピアノ曲の習得、季節の歌(秋)の練習をする。 【授業内容】 今練習しているピアノ曲を仕上げる。秋の歌の練習をする。「森のくまさん」、「ゆき」。			15	【到達目標】 定期試験を実施。1年間の到達状況を判断する。歌に合わせて季節の歌がピアノで演奏できる。 【授業内容】 後期で学習したピアノ曲1曲。後期で学習した季節の歌を1曲ピアノ演奏。合計2曲を演奏する。課題曲の中から1曲選ぶ。		
8	【到達目標】 中間試験を行い、前期前半の到達度を理解する。 【授業内容】 「季節のうた」を1曲仕上げいつでも弾き歌いができるようになる～秋の歌～。「たきび」。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	図工 Arts and crafts education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	川口 麗
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 月曜 1・2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
美術科修士課程修了。美大予備校、カルチャー教室、自宅アトリエ、幼稚園アート教室にて、大人や子どもの創作活動に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの表現力や創造力を育むための基礎知識を学ぶ制作演習である。 美術教育の立場から、現状や観点を伝える。							
【到達目標】							
・発達段階に応じた絵画造形の基礎を学び、創作活動を適切に指導する技術を身に付ける。 ・材料や画材の知識を深め、表現に適した選択ができる。 ・表現の楽しさを学び、伝えることができる。他者の表現に寄り添うことができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 教員の指示に従い準備をすること(スケッチブック、画材など)				【授業外における学習】 想像力を広げたい。日常の中で興味深く観察する視点を持ち制作に活かす。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 幼児の表現に関心を持ち、画材の種類を知る。スケッチブックシアター、マジックシアター、動く工作について知る。 【授業内容】 講義 「前期の振り返り。作品紹介。講師による実演。」			9	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「アクリル画」		
2	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「紙版画」			10	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」①構想を考えながら、下描き。		
3	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「絞り染め」			11	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」②着彩、仕掛け作業。		
4	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「飛び出すカード」			12	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」③着彩、仕掛け作業。		
5	【到達目標】 道具と技法を知る。 【授業内容】 演習 「変わり絵、マジックシアター」			13	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」④着彩、仕掛け作業。		
6	【到達目標】 紙ねんどの特性をふまえ、材料と技法を知る。 【授業内容】 演習 「紙ねんど制作」			14	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践と復習、応用。 【授業内容】 演習 「絵本制作」⑤着彩、仕掛け作業。		
7	【到達目標】 イメージを様々なパーツと組み合わせ、一つの世界を表示する。 【授業内容】 演習 「コラージュ」			15	【到達目標】 演習で学んだ技法の実践を通し、一冊の本にする。他者の作品を観覧し今後の参考にすることができる。 【授業内容】 演習 「絵本制作、展示会」 定期試験。		
8	【到達目標】 道具と技法を知る。アートセラピーを体験する。 【授業内容】 演習 臨床美術課題「色のアラベスク」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 他者の表現に興味を持ち観察してみよう。							

科目名 (英)	保育内容の理解と方法 Understanding and method for Childcare contents	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	さいたま市私立保育園協会 上條 友葉
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
さいたま市私立保育園協会に所属し、保育実務歴5年以上を有する。/保育士・幼稚園教諭としての実務経験、本校における現場実習指導の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、学生が各保育所の現場に赴き、各保育所の特色や保育の取り組みについて実践を通して学び、保育職と子どもの理解に繋がる事を目的とした科目である。授業毎の課題を基に行った実践を振り返り、各保育所で得てきた学びをディスカッションを通して共有し、各々の保育に対する理解を深めていく。 後期では前期の学びを活かし、保育実践により直接的に関わることでより多角的な気づき、体系的な理解を深めていく。							
【到達目標】							
・保育現場の実際や実態を学び、保育の基本や保育者の役割を理解することができる。 ・子どもの発達や保育の環境、内容を理解したうえで、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 ・保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 教科書Gakken 保育 Books保育所保育指針ハンドブック イラストたっぷり やさしく読み解く				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「なかよしになろうね」		
2	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」			10	【到達目標】 登園での学びを振り返り、仲間と分かちあうなかで新たな課題や気づきを得ることができる。 【授業内容】 中間テスト		
3	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとするができる。 良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「良いところみつけた」			11	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとするができる。 良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「良いところみつけた」		
4	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による伝え合いの場面から学び、気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「先生の言葉かけ」			12	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による伝え合いの場面から学び、気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「先生の言葉かけ」		
5	【到達目標】 登園での学びを振り返り、仲間と分かちあうなかで新たな課題や気づきを得ることができる。 【授業内容】 グループワーク			13	【到達目標】 ねらいを持ち、指導案を手掛かりに保育実践をすることができる。保育の内容を振り返り新たな課題に気付くことができる。 【授業内容】 登園日⑩「保育の計画と評価」		
6	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「なかよしになろうね」			14	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。 【授業内容】 1年間の振り返り		
7	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとするができる。 良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「良いところみつけた」			15	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 ねらいを持ち、指導案を手掛かりに保育実践をすることができる。保育の内容を振り返り新たな課題に気付くことができる。 【授業内容】 登園日⑥「保育の計画と評価」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容総論 Early Childhood Education Curriculum	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	さいたま市私立保育園協会 上條 友葉
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分	後期 火曜 2限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が保育園へ登園し実際に子どもの姿から保育を学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】							
①保育所保育指針における「保育の目標」、「子どもの発達」、「保育の内容」を関連付けて保育内容を理解し、保育指針の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。②保育内容の歴史的変遷について学び、保育内容について理解する。③観察や記録の観点を習得し、保育内容と子ども理解とのかかわりについて学ぶ。④養護と教育が一体的に展開することを具体的な保育実践につなげて理解する。⑤保育の多様な展開について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 教科書Gakken 保育 Books保育所保育指針ハンドブック イラストたっぷり やさしく読み解く				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「なかよしになろうね」		
2	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」			10	【到達目標】 登園での学びを振り返り、仲間と分かちあうなかで新たな課題や気づきを得ることができる。 【授業内容】 中間テスト		
3	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとするができる。 良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「良いところみつけた」			11	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとするができる。 良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「良いところみつけた」		
4	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による伝え合いの場面から学び、気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「先生の言葉かけ」			12	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による伝え合いの場面から学び、気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「先生の言葉かけ」		
5	【到達目標】 登園での学びを振り返り、仲間と分かちあうなかで新たな課題や気づきを得ることができる。 【授業内容】 グループワーク			13	【到達目標】 ねらいを持ち、指導案を手掛かりに保育実践をすることができる。保育の内容を振り返り新たな課題に気付くことができる。 【授業内容】 登園日⑩「保育の計画と評価」		
6	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「なかよしになろうね」			14	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。 【授業内容】 1年間の振り返り		
7	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとするができる。 良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「良いところみつけた」			15	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有することができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 ねらいを持ち、指導案を手掛かりに保育実践をすることができる。保育の内容を振り返り新たな課題に気付くことができる。 【授業内容】 登園日⑥「保育の計画と評価」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育内容演習 Seminar for Contents of Early Childhood Care and Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	さいたま市私立保育園協会 上條 友葉
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 火曜 3限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において実習指導に携わる経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
本科目は、子どもの発達に必要な活動について、学生自身が保育園へ登園し実際に子どもの姿から保育を学ぶ科目である。学生はこの授業から保育の理解を深め、現場力を身につけて欲しい。また、グループワークを通じて保育現場で必要な相互理解の力を養って欲しい。							
【到達目標】							
①総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。 ②保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域を通して捉え、保育の内容について具体的に理解する。 ③子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えようとするとともに、保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。 ④環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程の実際について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 教科書Gakken 保育 Books保育所保育指針ハンドブック イラストたっぷり やさしく読み解く				【授業外における学習】 保育現場での学びに備えた事前事後の課題を期日を守り取り組むこと。 健康管理・身だしなみや清潔面を特に意識し保育学生としての身構えを整えること。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 週1登園の目的と目標を確かめ合う。 必要な事前準備を整えることができる。 【授業内容】 オリエンテーション/スケジュールと評価の確認			9	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑦「なかよしになろうね」		
2	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日①「なかよしになろうね」			10	【到達目標】 登園での学びを振り返り、仲間と分かちあうなかで新たな課題や気づきを得ることができる。 【授業内容】 中間テスト		
3	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日②「良いところみつけた」			11	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑧「良いところみつけた」		
4	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日③「先生の言葉かけ」			12	【到達目標】 保育者の場面に応じた言葉かけ・言葉のない関わりや見守り、言葉による 伝え合いの場面から学び、気づきをまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑨「先生の言葉かけ」		
5	【到達目標】 登園での学びを振り返り、仲間と分かちあうなかで新たな課題や気づき を得ることができる。 【授業内容】 グループワーク			13	【到達目標】 ねらいを持ち、指導案を手掛かりに保育実践をすることができる。保育の 内容を振り返り新たな課題に気付くことができる。 【授業内容】 登園日⑩「保育の計画と評価」		
6	【到達目標】 子どもとの出会いを喜び、関わりから気づきを得ることができる。 関わりの上での留意点に気づきまとめることができる。 【授業内容】 登園日④「なかよしになろうね」			14	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有する ことができる。 【授業内容】 1年間の振り返り		
7	【到達目標】 生活や遊びを通して子どもの個性や発達に注目し、理解しようとする ことができる。良好な関係を築き、記録にまとめることができる。 【授業内容】 登園日⑤「良いところみつけた」			15	【到達目標】 週1登園を振り返り、これまでの気づきをまとめ言葉にして共有する ことができる。自身の次の課題を見つけまとめることができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 ねらいを持ち、指導案を手掛かりに保育実践をすることができる。保育の 内容を振り返り新たな課題に気付くことができる。 【授業内容】 登園日⑥「保育の計画と評価」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	社会的養護Ⅰ InstitutionⅠ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	丑久保 行紀
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 児童養護施設の職員として15年の勤務経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 本科目は、社会的養護の意義や制度、実施体系について学ぶ。子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解するとともに、社会養護の現状や課題について、主体的に考察する力を養う。 担当教員のこれまでの現場経験の事例も紹介しながら、具体的にわかりやすい説明を行い、時に学生に考える時間を設け、より深く理解できる授業を行う。							
【到達目標】 1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する。2. 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する。 3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解する。4. 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する。 5. 社会的養護の現状と課題について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「みらい×子どもの福祉ボックス 社会的養護Ⅰ」みらい				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 社会的養護の概念について理解し、社会的養護の概念およびその理念と原理を理解できる。 【授業内容】 社会的養護とは何か・社会的要の基本理念と原理・社会的養護の基盤づくり			9	【到達目標】 予防的支援、在宅措置、代替養育を必要とする子供たちや家族がどのようなニーズを抱えているか理解できる。 【授業内容】 児童虐待と社会的養護・措置解除後のアフターケアの対象と支援		
2	【到達目標】 社会的養護の歴史の変遷について学び、欧米・日本の社会的養護の歴史を理解する。 【授業内容】 欧米の社会的養護の歩み・日本の社会的養護の歴史			10	【到達目標】 社会的養護施策の動向、里親やファミリーホームなどの家庭養護施設と施設養護の現状と課題について理解できる。 【授業内容】 家庭養護と施設養護について・児童養護施設について・里親制度について		
3	【到達目標】 社会的養護における子どもの人権擁護の捉え方や、具体的養護の在り方を検討し、虐待の防止や対応を理解できる。 【授業内容】 子どもの人権擁護と社会的養護における虐待			11	【到達目標】 現場で働く専門職の業務内容及び求められる専門性について理解できる。 【授業内容】 専門性とは・国家資格、保育士について・児童福祉施設に配置されている職種と連携について		
4	【到達目標】 社会的養護の基本原則である「家庭養育優先原則」を学び、その根拠となる法律や条例等を理解できる。 【授業内容】 児童福祉法の改正・新しい社会的養育ビジョンについて・アイデンティティの形成			12	【到達目標】 現場社会的養護で暮らす子どもたちの背景や社会的養護の位置づけ、その相互関係について理解できる。 【授業内容】 現代社会における養護問題・児童福祉法改正と新しい社会的養育ビジョン		
5	【到達目標】 倫理とは社会生活上の行動規範であることを学び、社会的養護にかかわる専門職の倫理と責務について理解できる。 【授業内容】 倫理とは・社会的養護におけるケアと倫理・子どものケアに係る専門職・保育士の倫理綱領			13	【到達目標】 施設等の運営にかかわる内容と費用の仕組みや在り方について理解できる。 【授業内容】 児童福祉施設の運営主体について・社会福祉法人とは・施設における家庭的養護の推進と人事労務管理		
6	【到達目標】 「措置制度」とその背景原理、児童福祉法の概要、関連法規について学び、日本の社会的養護の制度と法体系について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の制度について・社会的養護の基本法(児童福祉法)・社会的養護に関するさまざまな関連法規			14	【到達目標】 被措置児童等の虐待とは何かを理解し、被措置児童等の虐待防止の経緯を踏まえてその発生要因と課題について理解できる。 【授業内容】 被措置児童虐待とは・被措置児童虐待の現状について		
7	【到達目標】 児童相談所から社会的養護の施設や里親課程に至るまでのソーシャルワーク過程について理解できる。 【授業内容】 社会的養護の基本的なしくみ・社会的養護の実施体系			15	【到達目標】 地域福祉の中で児童福祉施設の役割について理解する。これまでの振り返りを通して、社会的養護についての理解を定着させる。 【授業内容】 定期試験・前期授業振り返り		
8	【到達目標】 ソーシャルワークについての基本的な視点や考えを確認し、社会的養護におけるソーシャルワークについて理解できる。 【授業内容】 ソーシャルワークの定義・社会的養護におけるソーシャルワーク・ファミリー・ソーシャルワーク・中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 日頃から子どもに関する情報を新聞やネットで収集しておくことが深まる。							

科目名 (英)	乳児保育Ⅱ Infant nursing CareⅡ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	平岡 麻依子
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 水曜 3限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立保育所に長年勤務し、0歳児から5歳児までの保育に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
3歳未満児の発達をふまえた、実践的な関わり方を講義と実技演習を通して理解し、実践できるようになっていく。また、現代の保護者の置かれている状況と、抱えている不安について理解し、信頼関係を築き寄り添っていく方法を身につけて欲しい。							
【到達目標】							
1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に理解する。 3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
令和5年度最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン／幼稚園教育要領／保育所保育指針／幼保連携型認定こども園教育・保育要領(チャイルド社)							
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 乳児の情緒発達を理解し、適切な支援方法を考えることができる。 【授業内容】 情緒発達の段階と保育士の関わり。			9	【到達目標】 乳児に適した絵本の選び方と読み聞かせの効果を理解できる。 【授業内容】 年齢に応じた絵本選びと読み聞かせの方法。		
2	【到達目標】 発達に応じた遊びの発展的な支援方法を理解できる。 【授業内容】 創造的な遊びの取り入れ方。			10	【到達目標】 保護者支援の必要性和具体的な方法を理解できる。 【授業内容】 家庭との連携、保護者面談のポイント。		
3	【到達目標】 乳児の感覚発達を促すおもちゃを制作することができる。 【授業内容】 安全に配慮した音のなるおもちゃの制作と、保育への活用を学ぶ。			11	【到達目標】 手袋シアターの基礎を理解し、制作できる。 【授業内容】 手袋シアターの制作		
4	【到達目標】 乳児の栄養支援の一環として離乳食と調乳の方法を習得することができる。 【授業内容】 離乳食の食べさせ方と調乳の実技演習。			12	【到達目標】 手袋シアターの基礎を理解し、制作できる。 【授業内容】 手袋シアターの制作		
5	【到達目標】 スケッチブックシアターの基礎を理解し、制作できる。 【授業内容】 スケッチブックシアターの作成。			13	【到達目標】 手袋シアターの基礎を理解し、制作できる。 【授業内容】 手袋シアターの制作		
6	【到達目標】 スケッチブックシアターの基礎を理解し、制作できる。 【授業内容】 スケッチブックシアターの作成。			14	【到達目標】 手袋シアターの基礎を理解し、制作できる。 【授業内容】 手袋シアターの制作		
7	【到達目標】 指導案を作成し、発表に向けての練習を行う。 【授業内容】 スケッチブックシアターの実践練習。			15	【到達目標】 授業内容の振り返りができる。 【授業内容】 定期試験(筆記試験)		
8	【到達目標】 スケッチブックシアターを実践し、表現力を発揮することができる。 【授業内容】 中間試験 スケッチブックシアター実技発表			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	子どもの健康と安全	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	皆川 紘子
	Health and safety for childhood	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分	後期
学科・コース	保育士科(昼間主コース)					曜日・時間	木曜 1限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 救急看護認定看護師として新生児・乳児・幼児の看護に携わり、虐待対応や保護者対応、保育園へ訪問し保育士に対する指導などに携わっている。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士として子どもの健康の保持増進に必要な知識や技術の基礎を習得するための講義を行う。安心で安全が保障される保育を実施するために、子どもの命を預かる重要性和責任を自覚し、理解を深めてほしい。							
【到達目標】 1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。2. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。 4. 関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、保育における感染症対策について、具体的に理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 医療専門用語や難しい内容も多いので事前学習や予習をして講義を受け、毎回の「小テスト」を繰り返し行い学習内容の定着を目指して下さい。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 子どもの健康と安全を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの成長発達と健康 子供の健康に影響するもの 子どもを取り巻く環境と安全			9	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害の概念		
2	【到達目標】 子どもの健康と子育てに必要な養護・しつけを学び理解することができる。 【授業内容】 居住・施設環境・基本的生活習慣・基本生活習慣の確立 日常に必要な養護			10	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 障害を伴う病気・症状とそのケア		
3	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもの事故の特徴			11	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 精神的な障害(発達障害/神経症)とそのケア		
4	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置①			12	【到達目標】 障害を持つ子どもと家族へのかかわり方を学び理解することができる。 【授業内容】 特殊なケアの介助方法		
5	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの理解と応急処置②			13	【到達目標】 災害の影響から子どもをできるだけ守るを学び理解することができる。 【授業内容】 災害の種類と影響 災害に備えて		
6	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの予防①			14	【到達目標】 地域との連携・協働を学び理解することができる。 【授業内容】 子どもにかかわる地域ネットワークシステム・保護者と地域における専門職との連携・協働		
7	【到達目標】 子どもの事故とその予防を学び理解することができる。 【授業内容】 事故やけがの予防②			15	【到達目標】 授業の内容の理解を深め定着することができる。 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 前半の授業を振り返り学び理解することができる。 【授業内容】 前半の授業の振り返りと捕捉 中間テスト			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】 授業内容により実技の追加や複数回で学習する内容に関しては変更もあるため授業コマシラバスを参考にしてください。							

科目名 (英)	教育原理 Basic Study for Child Education	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 2限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わった経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
教育の意義、歴史、現代教育の目的、教育がもたらす効果、教育に関わる時事問題、世界の教育等について、講師の経験を織り交ぜながら講義・演習を行う。受講者の主体性と表現能力を伸長する授業や活動を行う。また現場で必要な小学校・中学校レベルの学習について、演習を行う。							
【到達目標】							
1. 教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等との関わりについて理解する。2. 教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する。3. 教育の制度について理解する。4. 教育実践の様々な取り組みについて理解する。5. 生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 新基本保育シリーズ「教育原理」				【授業外における学習】 予習や復習、資料準備などを事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 教育の意義と目的について理解する。 【授業内容】 ①教育の意義と目的について②小学校の国語1 1年生の国語 漢字 日づけと曜日 おおきなかぶ			9	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について1 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について調べます。②小学校の国語4 小学校5,6年生の国語から		
2	【到達目標】 幼児教育の目的と必要性を理解する。 【授業内容】 ①幼児教育と早期教育の違い②小学校の算数1 1年生の算数 いくつといくつ たし算 ひき算			10	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について2 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について調べます。②小学校の算数4 小学校5,6年生の算数から		
3	【到達目標】 教育に関する法律を知り理解する。 【授業内容】 ①教育に関する法律②小学校の国語2 2年生の国語 ようすをあらわすことば かん字の広場 スイミー			11	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について3 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について調べます。②中学校の国語1 中学校の国語から		
4	【到達目標】 日本の教育思想と歴史を理解する。 【授業内容】 ①日本の教育思想と歴史②小学校の算数2 2年生の算数 時こくと時間 九九			12	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について 討論1 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について発表・討論します ②中学校の数学1 中学校の数学から		
5	【到達目標】 世界の教育思想と歴史を理解する。 【授業内容】 ①世界の教育思想と歴史②小学校の国語3 小学校3、4年生の国語から			13	【到達目標】 時事問題:幼児教育・学校教育について 討論2 【授業内容】 ①後半は、みなさんが興味関心を持つ、教育問題について発表・討論します ②中学校の国語2 中学校の国語から		
6	【到達目標】 諸外国の教育制度と特徴を理解する。 【授業内容】 ①諸外国の教育制度と特徴②小学校の算数3 小学校3、4年生の算数から			14	【到達目標】 今までの学習について振り返り、理解を深めることができる。 【授業内容】 ①学習の振り返り。②中学校の数学2中学校の数学から		
7	【到達目標】 日本と諸外国の教育の違いを理解する。 【授業内容】 ①日本と諸外国の教育の違い②小学校入試問題			15	【到達目標】 授業1～授業14を振り返り、定期試験を受けることができる。 【授業内容】 授業1～授業14を振り返り、定期試験を受けることができる。		
8	【到達目標】 授業1～7までの内容を振り返る。 【授業内容】 今までの学習の振り返り 中間テスト 15点満点			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	子どもの食と栄養 Nautrition for children	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	六角 はち美
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 木曜 3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
20年以上にわたり病院(産婦人科、小児科)・保育園・介護施設での栄養管理をはじめ、調理・献立作成や衛生管理・食育教室・発注作業・栄養相談など幅広い経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
栄養学は体と食の関係性を学ぶ事が大切です。自分の体の中で起こっていることにまずは興味を持てるように、日常で行える体の変化を体験していただきます。五大栄養素とはそれぞれどんな役割を持っていて、体に吸収される流れはどんな物なのかを体系的に学び、食べ物体がの一部になったり、エネルギーとして使われたりなどリアルに理解できるように身近な食材を使ってイメージしやすいように授業を進めて行きます。							
【到達目標】							
1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。 2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解する。 3. 養護及び教育の一体性を踏まえた保育における食育の意義・目的、基本的考え方、その内容等について理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
				日々自分の食事と体調の変化に意識を向け食と身体つながりをリアルに感じる。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 保育士が食と栄養を学ぶ意義を理解し1年間の目標を見いだせる。 食事が体調に関わってくることを理解する。 【授業内容】 オリエンテーション(栄養とは？導入の授業を行う) 自分の食事を書き出し、自分の食習慣と向き合う。			9	【到達目標】 脂質(油脂類)の特徴を知り意味を持って選べるようになる。 【授業内容】 脂質(油脂類)について種類・特徴について学ぶ		
2	【到達目標】 食事バランスガイドが使える。 調理実習の動きがイメージできる。 【授業内容】 食事バランスガイドを実際を使って自分の食事バランスを確認する。 実習に向けて衛生管理について確認し、実習内容についての説明を行う。			10	【到達目標】 子どもと月見団子が作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
3	【到達目標】 おにぎりや味噌汁が作れるようになる 【授業内容】 調理実習			11	【到達目標】 子どもと月見団子が作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
4	【到達目標】 おにぎりや味噌汁が作れるようになる 【授業内容】 調理実習			12	【到達目標】 次回の実習の成功イメージが出来る様になる。 第9回～12回授業についてしっかりと説明できる。 【授業内容】 実習の振り返りをし、次回の実習のイメージをする。 第9回～12回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行う。		
5	【到達目標】 糖質(穀類)の特徴を知り意味を持って選べるようになる。 【授業内容】 主食・糖質(穀類)について種類・特徴について学ぶ。 実習の振り返りをする			13	【到達目標】 子どもと手打ちうどんが作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
6	【到達目標】 糖質(芋・砂糖)の特徴を知り意味を持って選べるようになる② 【授業内容】 主食・糖質(芋・砂糖類)について種類・特徴について学ぶ。			14	【到達目標】 子どもと手打ちうどんが作れるようになる 【授業内容】 調理実習		
7	【到達目標】 たんぱく質(肉・魚類)の特徴を知り意味を持って選べるようになる。 【授業内容】 主菜・たんぱく質(肉・魚類)について種類・特徴について学ぶ。			15	【到達目標】 第1回～14回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行い、それぞれ説明できる。 【授業内容】 定期試験を行う。		
8	【到達目標】 第1回～7回授業についてしっかりと理解が出来ているか確認を行い、それぞれ説明できる。 【授業内容】 中間試験を行う。 たんぱく質(肉類・魚類・卵糖・大豆類)についてまとめを行う。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 日常での体調チェックを行うようにしていくと、栄養の授業がより興味をもってうけられるようになります。							

科目名 (英)	カウンセリング理論 counseling theory	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	中村 夏海
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 1限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
臨床心理士、公認心理師。児童養護施設や教育支援センターにて、子どものプレイセラピー、カウンセリング、知能検査、行動観察等の経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を学習する。 保育実践にかかわるカウンセリングの知識や心の病気について、実践的に学習する。 内省やグループワークの機会を設ける中で、一人ひとりが自己理解と他者理解を深化させ、チームマネジメントの基礎を学び、保育実践場面での素養を醸成する。							
【到達目標】							
対人援助職としてのカウンセリング・マインドの重要性を理解する。 カウンセリングの仕組みを理解し、コミュニケーション活動や援助に役立てる。 カウンセリングの諸理論とプレイセラピーの意義を理解し、傾聴を中心とした対人援助技術を知る。							
【使用教科書・教材・参考書】 講師が資料を提示する。				【授業外における学習】 心理学の専門用語が出てくるため、分からない用語は調べてください 必要に応じて、予習復習、事前準備をお願いすることがあります			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 オリエンテーション、カウンセリングとは			9	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 カウンセリングの傾聴①そのまま受け取る、うなずく、繰り返す		
2	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 カウンセリングの方法(面接、観察、検査)、カウンセリングの3原則			10	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 カウンセリングの傾聴②客観的に聞く、自分と重ねる、ズレを感じ取る		
3	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 ラポール形成、受容と共感			11	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 カウンセリングの傾聴③質問する、要約する		
4	【到達目標】 カウンセリングの理解 【授業内容】 子どものカウンセリング(プレイセラピー)			12	【到達目標】 カウンセリングの実践 【授業内容】 保護者とのやりとり		
5	【到達目標】 プレイセラピーとアセスメントの理解 【授業内容】 遊びの表現を遊びの中で受け止める			13	【到達目標】 カウンセリングに必要な自己理解 【授業内容】 自分の気持ちに気が付く、考え方や感じ方の癖を知る、バーンアウトとセルフケア		
6	【到達目標】 プレイセラピーとアセスメントの理解 【授業内容】 発達障害(特性)について			14	【到達目標】 これまでの授業を振り返る 【授業内容】 定期試験に向けたこれまでの授業の振り返り、質疑応答		
7	【到達目標】 プレイセラピーとアセスメントの理解 【授業内容】 「気になる」ことに気が付く			15	【到達目標】 振り返り 【授業内容】 定期試験		
8	【到達目標】 これまでの授業を振り返る 【授業内容】 中間試験			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】							

科目名 (英)	英会話 English Conversation	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	海老原 孝一
		授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 2・3限
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験)							
公立の小中学校で教育職員をした後、海外の日本人学校や幼稚園で18年間教育・運営に携わった経験を持つ。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか)							
日常で使う英語表現を学びながら、保育士・幼稚園教諭が現場で必要とする英語・英会話に特化した学習を行う。具体的には、幼児教育で使われる英語表現、英語の歌、英語のゲーム、パンフレット作成、保育現場で想定される英会話、英語の読み聞かせ・紙芝居、英語を用いた製作活動、英語劇などである。また校外に出て英語でインタビュー、動画作成などを行うこともある。							
【到達目標】							
・外国語学習を通して、異言語や異文化への抵抗意識が少なくなる。 ・日常会話および児童福祉分野に関する基礎的な英会話力を習得する。 ・外国語学習や活動を通して、異なったものを認め、それを受け入れる態度を身につける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
必要資料は授業時に教員が配付する。授業後に個人の所有物になる制作作品については各自材料の準備を願う。決められたテキスト等の使用はない。				予習や復習、資料準備・制作材料などは事前に連絡する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 英語で身の周りのことを話そう① 【授業内容】 「夏休みの思い出」を英語で紹介しよう。 歌:アニメソング その他			9	【到達目標】 英語の絵本の読み聞かせができる。① 【授業内容】 英語の絵本の読み聞かせをする。		
2	【到達目標】 英語で身の周りのことを話そう② 【授業内容】 「転入生が入って来た！」を英語で紹介しよう。「入園申込書」の書き方 歌:アニメソング その他			10	【到達目標】 クリスマスカードを英語で書くことができる。サンタクロースに手紙を書く。 ※ご家族の手紙の同封可 【授業内容】 クリスマスカード・サンタクロースへの手紙を書く。カナダサンタかドイツサンタかはその時に決定する。		
3	【到達目標】 市販の英語のゲームを説明書を見ながらやってみよう。 英語版「人生ゲーム」 歌:適時決定 【授業内容】 英語版「人生ゲーム」をやりながら英語のゲームに慣れる。			11	【到達目標】 英語の絵本の読み聞かせができる。② 【授業内容】 英語の絵本の読み聞かせをする。 発表を行う。		
4	【到達目標】 市販の英語のゲームを説明書を見ながらやってみよう。 英語版「人生ゲーム」 歌:適時決定 【授業内容】 英語版「人生ゲーム」を真剣にやってみよう。順位も決める。			12	【到達目標】 シュタイナー教育の「キャンドルグラス」を制作する。外国の文化に触れる。 【授業内容】 シュタイナー教育の「キャンドルグラス」を制作して、歌をうたう。撮影も行う。		
5	【到達目標】 こどもの様子を英語で表現できる。 この日の歌は、実態に合わせて決定。 【授業内容】 絵を見て、こどもの活動の様子を理解し、英語で書く・話す。			13	【到達目標】 楽しいパーティを企画してみよう。初めての「英語活動指導案」を書く① 【授業内容】 楽しいパーティを企画する初めての「英語活動指導案」を書く。次週、それを実際に行ってみる。		
6	【到達目標】 英語の歌 合唱コンクール① 【授業内容】 チームごとに英語の合唱曲を決めて練習する。			14	【到達目標】 楽しいパーティを企画してみよう。初めての「英語活動指導案」を書く② 【授業内容】 「英語活動指導案」を書いた活動を実際に行ってみる。		
7	【到達目標】 英語の歌 合唱コンクール② 【授業内容】 練習。			15	【到達目標】 後期授業1～14までの内容で、定期試験を行い、身につけた英語力を十分に発揮する。 【授業内容】 後期授業1～14までの内容で、定期試験を行う。試験内容の詳細は事前に発表する。		
8	【到達目標】 英語の歌 合唱コンクール③ 【授業内容】 練習と本番撮影。			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 受講者の状況に合わせて、内容や学習の順番を変更する場合があります。							

科目名 (英)	総合福祉技術(介護) Basic Nursing Care	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	高橋 亜希子
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 金曜 2・3限
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 特別養護老人ホームに併設されている「デイサービス」の勤務を経て、現在は「リハビリテーション病院」で看護助手として従事。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 介護の基礎を学び、介護技術を習得する。また、学んだ内容を実際の「演習」で確認し、身体機能や状態に合わせ、お互いの「安全、安楽、安心、自立、尊厳」を心掛けた介護技術の習得する授業を行う。							
【到達目標】 常に「利用者様」の立場に立って「支援」できるようになり、自ら進んで行動することができ、「介護支援」は、身体介護をするものだけではないことが理解できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 動きやすい服装 室内履き 髪の毛・爪など介護支援に相応しい身だしなみを整えて出席すること。				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 お互いの自己紹介を行うことで、コミュニケーションを図る。 【授業内容】 オリエンテーション 授業の進め方と評価の方法についての説明を行う。 介護のイメージを教えてください。			9	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「起き上がり」の介助を習得することができる。 【授業内容】 起き上がりの介助・・・常に声掛けを意識し、「臥床」⇒「座位」⇒「立位」の手順を習得する。		
2	【到達目標】 環境整備の意味を理解し、効率的なベットメイキングとシーツ交換の手順を習得することができる。 【授業内容】 環境整備とベットメイキング・・・ボディメカニクスをいかした介護技術を習得するために、シーツ交換の際の体の動かし方を意識する。			10	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助・・・ボディメカニクスを意識した「歩行」の介助を習得することができる		
3	【到達目標】 「声掛け」を意識することで、「安全、安心、安楽、自立、尊厳」を理解することができる。 【授業内容】 ベット上に利用者様が臥床したままのシーツ交換・・・声掛けを意識して、いろいろな体位を覚えながらシーツの交換を行う。			11	【到達目標】 ボディメカニクスを意識した「移乗」の介助を習得することができる 【授業内容】 移動と移乗の介助①・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
4	【到達目標】 「脱健着患」を理解することができる。 【授業内容】 衣類の着脱①・・・座ったままの状態での利用者様の「衣類の着脱」を行う。(上着のみ)			12	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 移動と移乗の介助 ②・・・ボディメカニクスを意識した「車いすへの移乗」の介助を習得することができる		
5	【到達目標】 声掛けを意識した「着脱」を行うことができる。 【授業内容】 衣類の着脱②・・・ベットに寝たままの状態での利用者様の「衣類の着脱」を行う。			13	【到達目標】 声掛けを意識した介助を行うことで、より現場に適した技術を習得することができる。 【授業内容】 実際の「利用者」がいることを意識しながら「移乗の介助」を行う		
6	【到達目標】 色々な形状の衣類の「着脱方法」を習得することができる。 【授業内容】 衣類の着脱・・・③・・・座ったままの状態での利用者様の「衣類の着脱」を行う(上下) 被りの衣類			14	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「期末テスト」へ向けての振り返り		
7	【到達目標】 学習内容を振り返ることで、自分に足りない技術を確認することができる。 【授業内容】 「中間テスト」へ向けての振り返り。			15	【到達目標】 【授業内容】 期末テスト		
8	【到達目標】 「中間テスト」を行うことで、前期の学習理解の状態を知る事ができる。 【授業内容】 「中間テスト」			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	保育実習Ⅰ(保育所) Nursery School PracticalⅠ	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上條 友葉
		授業 形態	実習	総単位 時間	80	開講区分 曜日・時間	後期 集中
学科・コース	保育士科(昼間主コース)						
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる経験を持つ講師が実習の準備・実施・振り返りをするための授業の上で、実習現場へと導く。実習は子どもに直接接することの出来る機会であり、保育士の仕事を実際に体験できる貴重な機会でもある。保育の仕事の喜びを体感すると同時に、保育を体系的に理解すること、新たな課題に気づき保育者としての資質向上への意欲を持ち実習に臨むことを期待する。							
【到達目標】 1. 保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。2. 観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。3. 既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解する。4. 保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解する。5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解する							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】 実習日誌にその日の記録を記載し、実習園の指定する提出期限を守り提出すること。			
授業概要							
<保育所実習の内容> 1. 保育所の役割と機能 (1) 保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2) 保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 (1) 子どもの観察とその記録による理解 (2) 子どもの発達過程の理解 (3) 子どもへの援助や関わり 3. 保育内容・保育環境 (1) 保育の計画に基づく保育内容 (2) 子どもの発達過程に応じた保育内容 (3) 子どもの生活や遊びと保育環境 (4) 子どもの健康と安全 4. 保育の計画・観察・記録 (1) 全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2) 記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1) 保育士の業務内容 (2) 職員間の役割分担や連携・協働 (3) 保育士の役割と職業倫理 <実習にあたって> ・実習日は実習先の定める期間で、10日間80時間以上を行うこと。 ・実習にあたって学校での指導をうけるとともに、実習先の指示に従いオリエンテーションをうけること。							
【特記事項】 まず第一に健康に留意し実習に臨むこと。これまでの学習を振り返り、また現場を想定した予習に励み、利用児者の生活のうちにおける環境の一部としての自覚をもち実習に臨むこと。また実習中に不測の事態があった際は自己の判断をするのではなく、実習施設及び学校の担当職員へ確実に報告・連絡・相談を行い、指示を仰ぐこと。				【評価について】 学内での実習評価基準に基づき評価を行う。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			

科目名 (英)	保育実習指導Ⅰ Guidance for Institution Practical	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	上 條 友 葉
学科・コース	保育士科(昼間主コース)	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【実務経験】(担当する授業科目に関連した実務経験) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる。							
【授業の学習内容】(どのような実務経験を持つ教員がその実務経験を活かして、どのような教育を行うか) 保育士・幼稚園教諭としての実務経験を有し、現場及び本校において保育・教育実習生への指導全般に携わる経験を持つ講師が実習の準備・実施・振り返りをするための授業を行う。保育の仕事の喜びを体感すると同時に、保育を体系的に理解すること、新たな課題に気づき保育者としての資質向上への意欲を持ち実習に臨むことができるように基礎的な学びの振り返りと自己課題の明確化を段階的に行う授業である。							
【到達目標】 ①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。②観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。③既習の教科の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に学ぶ。④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解する。⑤保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・「学生・養成校・実習園がともに学ぶこれからの時代の保育者養成・実習ガイド」				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 実習全般について理解する事ができ、実習Ⅰ(保育所)についてイメージする事ができる。 【授業内容】 実習オリエンテーション 具体的な事例を基に、実習に向けて準備を始める			9	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 実習前試験 実習壮行会		
2	【到達目標】 実習における留意事項を理解し、気構え心構えができる。 実習日誌の取り扱いを理解し記載することができる。 【授業内容】 実習における留意事項、実習日誌の記載			10	【到達目標】 実習の全貌を振り返り、10日間の学びを整理する。 【授業内容】 実習の自己評価		
3	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 時系列の記入方法			11	【到達目標】 グループワークを通じて実習を振り返り、学びの共有を図る。 【授業内容】 実習の振り返り(グループワーク)		
4	【到達目標】 実習日誌について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 エピソード記録の書き方			12	【到達目標】 グループワークでの実習の振り返りまとめ、発表することができる。 【授業内容】 実習の振り返り(グループワーク)		
5	【到達目標】 指導案について理解し、記入方法を獲得し模擬記入ができる。 【授業内容】 指導案の書き方と実践を目指した準備・振り返り			13	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的の理解		
6	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 身だしなみの確認・持ち物の確認			14	【到達目標】 施設実習の意義・目的を理解し、分野理解を深めることができる。 【授業内容】 施設実習の意義・目的の理解		
7	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 実習諸書類の取扱いと提出のマナー 電話と往訪時のマナー			15	【到達目標】 施設実習に向けての配慮事項を理解し、実習にあたっての課題や目標を考えることができる。 【授業内容】 施設実習における配慮事項、実習課題・目標		
8	【到達目標】 実習生としての立場を弁えた立ち居振る舞い・実習へ臨む姿勢について理解することができる。 【授業内容】 報道相 挨拶と返事の大切さ 職員間の連携と協働			【評価について】 筆記試験による定期試験60点、毎回の小テスト40点の配分を総合し評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価 ※出席が70%に満たない場合はE評価(特別補講を実施)			
【特記事項】 必要な課題や提出物が滞ることの無いよう意識すること。不測の事態が起きた際には学校への報道相を徹底すること。							